

村上助教授、教授に昇任

むらかみ まさなお

村上正直 OSIPP 助教授の教授への昇任が昨年12月19日の教授会で承認され、1月16日に発令された。

1956年、京都市生まれ。80年、大阪大学法学部卒。阪大法学研究科博士課程単位修得退学(法学修士)後、阪大法学部助手、新潟大学法学部助教授、阪大法学部助教授などを経て、94年からOSIPPへ。02年、博士(国際公共政策)取得。専門分野は国際法、特に人権の国際的保障。主な著作、論文は『図説 国際法』(共著・有斐閣)、『国際人権法概論』(同・有信堂)、『犯罪人引渡』(日本と国際法の100年 第5巻)、『三省堂』、『外国人の追放と家族の利益保護』(世界人権問題研究センター『研究紀要』第7号)など。

IPP研究会

3氏が報告

IPP(International Public Policy)研究会がOSIPP棟で開かれ、OSIPPの坂田圭助手が1月10日に、星野俊也助教授が同28日に、それぞれ博士号取得に向けた論文を公開報告した。

坂田氏は"Impacts of Sectoral Shifts and Technological Change on the Japanese Labour Market"と題し、日本の労働市場における部門間移動仮説と技術革新の影響を実証的に分析。コンピューターの導入などの技術革新が与えた影響に関しては、審査委員からデータ上の制約などにより結果を慎重に解釈する必要があるなどの指摘を受けた。

星野氏は「国際平和回復政策の展開と日本」と題し、冷戦後の人道的な危機に対処するための個々の平和活動(平和強制や平和構築など)を連続したものとして捉える国際平和回復政策という概念を提示。審査委員からは国際法上の位置付け、政策提言の実効性などにつき指摘がなされた。

また、02年12月18日には財務省財務総合政策研究所の田中秀明総括

国際シンポジウム 太平洋西淵地域の制度改革と国家間連携の将来をさぐる

2月12、13日、OSIPPにて「太平洋西淵地域の制度改革と国家間連携の将来」と題する国際シンポジウムが開催された。文部科学省の科研プロジェクトの一環として行われたもので、初日はケント・アンダーソン・オーストラリア国立大助教授が「The Limits of Soft Law Harmonization」、シンガポール・ナンヤン大学のタン・キーギャップ准教授が「Bilateral FTA and its Impact on East Asia」と題し報告。経済分野における「世界法」制定に向けた5つのアプローチなどについて

議論が交わされた。

2日目は野村美明 OSIPP 教授の「International Harmonization and Recognition of Law and Regulations」、高阪章同教授の「Costs of Globalization」、マーク・ノラン・オーストラリア国立大助教授の「Comparative Environment for Public Participation in the Justice System」、タイ・タマサート大学のバヌポン・ニディプラバ副学長による「Thai Economic Reform and Social Charges」の報告がそれぞれ行われた。

9・11以降の日米、アジアの安全保障

アメリカンセンターと国際フォーラム共催

「日本とアメリカ、そして9/11テロ以降のアジアの安全保障を考える」と題する国際フォーラムが2002年12月9日、駐大阪・神戸米国総領事館関西アメリカンセンターで開催され、在日米海兵隊司令官ウォレス・C・グレグソン中將が講演した。

国際関係フォーラムは2002年度から、外国との協力関係を促進したいOSIPPと地元大学との協力強化を目指す同センターが共催で行っており、OSIPPからはコーディネーターとして黒澤満教授が参加。

これまで前米軍備管理・軍縮庁長官補や前米国防総省日本部長などが招かれおり、学生のほか一般市民にも開かれている。今後は経済をテーマとしたフォーラムも開催する方針。

また、同総領事館から4ヶ月ごとに50冊程度の資料の貸し出しを受ける計画もあり、実現すれば最新の資料がOSIPPで閲覧できることになる。

主任研究官が「財政赤字と予算・財政マネジメントの改革」と題して報告した。

拡大などを目指すという。OSIPP側の運営担当者は、ロバート・エルドリッチ助教授。

国際安全保障学会

11月に阪大で開催

「国際安全保障学会」の2003年度年次大会が今年11月、OSIPPの後援により大阪大学で開催されることになった。同学会は安全保障に関する理論的・実証的な研究を行う目的から73年に防衛学会として設立され、2000年に現在の名称へ変更した。

学会設立30周年にあたり、専門の事務局の立ち上げや部会・分科会の

オープンキャンパス

1月に実施

OSIPPのオープンキャンパスが1月8日から14日まで(平日のみ)実施された。講義内容や研究活動を受験希望者によりよく理解してもらうため、昨年度から実施されている。参加希望者は受付を行うだけで講義の聴講や研究室訪問が自由にでき、今年度は8人が参加した。